

仮想マシン単位のライセンス

仮想マシン単位のライセンスについて

IT 環境へのクラウド コンピューティング導入が一般的になるにつれ、物理ハードウェアを管理する代わりに、ハードウェアから抽象化される仮想マシン レベルでの管理がますます必要となってきます。今日では仮想マシンが新しい管理単位となっており、IT組織は新しいモデルの要求に適した柔軟な導入とライセンス オプションを求めています。

2010 年 9 月 1 日より VMware vCenter 製品の一部は、これまでのプロセッサ単位のライセンスから、仮想マシン単位のライセンスに移行します。その他の vCenter 製品については、既存のライセンスモデルでの販売を継続します。

仮想マシン単位のライセンスに移行する製品

- vCenter AppSpeed
- vCenter CapacityIQ (仮想マシン単位のライセンスは 2010 年末または 2011 年初頭以降に提供)
- vCenter Chargeback
- vCenter Site Recovery Manager

既存のライセンス モデルを継続する製品

- VMware vSphere
- vCenter Server
- vCenter Server Heartbeat
- vCenter Lab Manager

お客様への影響

VMware vCenter 製品の新規のお客様は、新しい価格モデルをご利用いただけます。このモデルでは、低価格で容易に vCenter 製品の機能を活用できます。

VMware vCenter AppSpeed、vCenter CapacityIQ、vCenter Chargeback、または vCenter Site Recovery Manager でプロセッサ単位のライセンスをすでに購入されているお客様には、これまでのプロセッサ単位のライセンスから仮想マシン単位の新しいライセンス モデルに基づくライセンスへの移行プランを提供します。2010 年 9 月 1 日時点で、前述の製品のプロセッサ単位のライセンスをお持ちの場合は、仮想マシン単位のライセンスに変更できます。

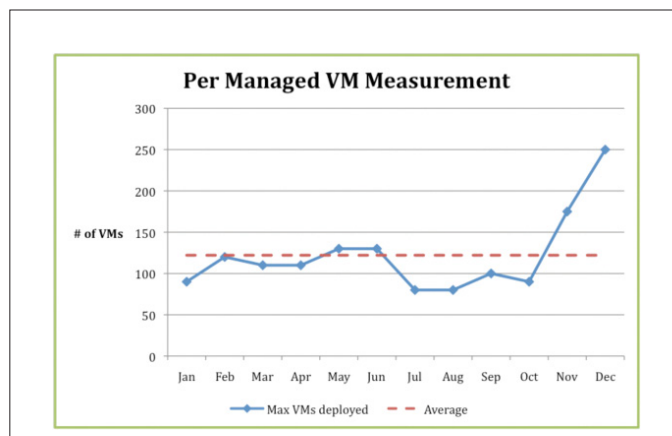
仮想マシン単位のライセンスへの変更

既存のお客様は、すでにお持ちのプロセッサ単位のライセンスを継続してご利用いただけます。また、通常の更新条件で、プロセッサ単位のライセンス用の VMware サポートおよびサブスクリプション (SnS) を継続して更新できます。

プロセッサ単位のライセンスを購入済みで、このモデルを継続して使用する場合は、2010 年 12 月 15 日まで、プロセッサ単位のライセンスを継続して購入できます。2010 年 12 月 15 日以降は、VMware vCenter AppSpeed、vCenter CapacityIQ、vCenter Chargeback、および vCenter Site Recovery Manager の仮想マシン単位のライセンスのみ購入可能となります。これらの製品は、1 ライセンスあたり 25 台の仮想マシン単位で販売されます。

仮想マシン単位のライセンスの仕組み

仮想マシン単位のライセンスは柔軟性に優れています。使用する個々のサーバに対するライセンスの代わりに、管理する仮想マシンの最大数の平均値に対してライセンスが必要になります。次の例をご覧ください。



仮想マシン単位のライセンスは、過去 12 か月間に使用された仮想マシンの最大数の移動平均値に基づいて算出されます。

- コスト レポートを効果的に管理するため、VMware vCenter Chargeback の購入を決めているとします。
- 通常は、90 ～ 125 台の仮想マシンを実行します。
- 図に示されているように、年末の 2 か月間は仮想マシンの使用台数が 200 ～ 250 台に急増します。

- ・1日あたりに実行する仮想マシンの最大数の平均値は、約130台です。
- ・必要となるライセンスは、最大使用台数の12か月間の平均値である、130台の仮想マシン分のみとなります。この場合、6つのライセンス（仮想マシン150台分）を購入します。1ライセンスで、25台の仮想マシンを実行できます。
- ・期間中の仮想マシンの平均使用台数が150台を超えた場合、VMware vCenter Server からアラートが通知されますが、引き続きそのまま環境を管理できます。

ライセンス数の決定

VMware vCenter AppSpeed、CapacityIQ、Chargeback および Site Recovery Manager では、管理対象の仮想マシン単位でライセンスが供与されます。管理対象の各仮想マシンに、ライセンス1つが必要になります。必要なライセンス数は、製品が管理している仮想マシンの数に基づきます。VMware vCenter Server は、各製品ライセンスの実際の使用状況に関する情報を提供します。また、平均利用台数が購入したライセンス数を超えた場合、アラートを通知します。

次の表は、各製品における管理対象仮想マシンの定義を示しています。

| 製品 | 管理対象の仮想マシンの定義 |
|-----------------------|--|
| Site Recovery Manager | 電源状態に関係なく、「保護対象仮想マシン」として定義される SRM の保護グループ内にあるすべての仮想マシン |
| AppSpeed | AppSpeed により常に監視されるパワーオン状態の仮想マシン |
| CapacityIQ | CapacityIQ により管理されるパワーオン状態の仮想マシン |
| ChargeBack | チャージバック階層内にあるパワーオン状態の仮想マシン |

仮想マシン単位のライセンスの使用

仮想マシン単位のライセンスは、AppSpeed 1.5、Chargeback 1.5 および Site Recovery Manager 4.1 以降のバージョンでサポートされます。CapacityIQについては、今後リリースされるバージョンで仮想マシン単位のライセンスがサポートされます。これらのバージョンでは、仮想マシン単位のライセンスまたはプロセッサ単位のライセンスのうち、どちらか一方を利用でき、購入した方のライセンスキーのみが提供されます。ただし、これらの製品の以前のバージョンでは、仮想マシン単位のライセンスキーは使用できません。

ライセンスキーは vCenter Server で管理されますが、仮想マシン単位のライセンスは vCenter Server 4.1 以降でサポートされます。また、vCenter Server 4.1 では、すべてのプロセッサ単位のライセンスをサポートします。vCenter Server 4.0 とそれ以前のバージョンでは、前述の製品向けの仮想マシン単位のライセンスには対応していません。

仮想マシン単位のライセンスは、同一の vCenter Server インスタンス上で、同じ製品のプロセッサ単位のライセンスと組み合わせて使用することはできません。その製品の仮想マシン単位またはプロセッサ単位のライセンスのうち、どちらか一方を使用する必要があります。

仮想マシン単位のライセンス価格

製品は、25台の仮想マシンライセンスパックで販売されます。この価格に SnS は含まれません。これらの管理製品は、プロセッサ単位でライセンスを購入する必要がないため、費用対効果に優れた実装を実現できます。

| 製品 | 仮想マシン単位のライセンスの価格 (25 PACK) |
|--|----------------------------|
| vCenter AppSpeed | \$3,750 |
| CapacityIQ (仮想マシン単位のライセンスは 2010 年末または 2011 年初頭以降に提供*) | \$1,875 |
| vCenter Chargeback | \$1,250 |
| vCenter Site Recovery Manager | \$11,250 |

*VMware vCenter CapacityIQ は、2010 年末または 2011 年初頭以降、仮想マシン単位のライセンスモデルで提供されます。それまでは、プロセッサ単位のライセンスを購入できます。

プロセッサ単位のライセンスから 仮想マシン単位のライセンスへの変更

前述のように、これらの製品のプロセッサ単位のライセンスを購入いただいている場合は、プロセッサ単位の各ライセンスを、特定数の仮想マシン単位のライセンスに無償で変更できます。プロセッサ単位のライセンスをご希望の場合、VMware は新しい仮想マシン単位のライセンスを発行し、プロセッサ単位のライセンスと交換させていただきます。プロセッサ単位のライセンスと引き換えに提供される仮想マシン単位のライセンス数は、製品によって異なります。詳細については、次の表を参照してください。

たとえば、Site Recovery Manager のプロセッサ単位のライセンスを6ライセンス所有している場合、5台分の仮想マシンライセンスが含まれた仮想マシン単位のライセンスパック6個と交換され、合計で30台分の仮想マシン単位のライセンスと交換されることになります。

| 製品 | プロセッサ単位の ライセンス 1 個を 変換する場合に提供 される仮想マシン 単位のライセンス数 |
|--|--|
| vCenter AppSpeed | 10 |
| CapacityIQ (仮想マシン単位の ライセンスは 2010 年末または 2011 年初頭以降に提供*) | 10 |
| vCenter Chargeback | 20 |
| vCenter Site Recovery Manager | 5 |

変更のリクエストは、[Customer Service Request](#) で発行します。リクエストを発行するには次の情報が必要です。

- ・ プライマリ ライセンス アドミニストレータの氏名およびメール アドレス
- ・ 仮想マシン単位のライセンスへの変更を希望する製品名
- ・ 契約番号または発注番号 (お持ちの場合)
- ・ ライセンス キー (お持ちの場合)
- ・ 既存のライセンス キーを、分割して、または複数を組み合わせて使用しているかどうか

その他のご質問については、ライセンス サポートにお問い合わせください (各国の連絡先については [VMware Phone Page](#) をご覧ください)。

VMware は、プライマリ ライセンス アドミニストレータとして登録されているご担当者様からのリクエストのみに対応いたします。リクエストをオンラインで発行すると、ケース番号が付与されます。1 営業日以内に、ライセンス変更担当者からご連絡を差し上げ、変更処理を開始いたします。

その他のご質問については、[FAQ](#) を参照してください。

